（様式第3号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	□	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	･人権の尊重、差別のない職場･社会について社員教育を行っており、経営者が積極的に関与している。 ･総務部長を相談窓口としている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		□	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	･ハラスメント禁止の旨を就業規則に明記している。 ･総務部長を相談窓口としている。 ･研修会を社員に実施している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		□	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	･長時間労働是正の為、労働生産性の改善(生産性向上設備の導入)や、部門毎の時間外管理を行っている。								8.5 8.8									
4		□	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	･技能実習生の受入れについて法令を遵守しており、当社社員と同様の待遇を行っている。 ･優良な技能実習者の基準を満たしている。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		□	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	･毎月、安全衛生委員会により職場の点検を行っており、危険な箇所があれば改善を行っている。 ･安全功労者内閣総理大臣表彰、無災害記録証金賞(第五種)を受賞している。			3					8									
6		□	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	･社内相談窓口を設置し、産業医及びカウンセラーに相談できる環境を整えている、			3														
7		□	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	･多様な人材が活躍できるように、勤務時間や適切な職場環境の整備に取り組んでいる。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		□	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	･役職、職務内容に適した研修会に積極的に受講している。　　･技能検定等の国家検定、資格取得者には費用を会社で負担し、技能･資格手当を支給している。				4	5.5			8	9								
9		□	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	･同一労働同一賃金の原則に沿って対応している。 ･毎年、適正な評価を行っている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		□	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	･産業医による日常の健康管理について指導を行っている。　･ラジオ体操を40年以上継続しており、表彰を受けている。　　･インフルエンザ予防接種費用を会社で一部負担している。			3					8									
11	環境	□	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	･マニュフェスト等により廃棄物の種類、量を把握し、台帳で管理している。											11.6	12.4		14.1			
12		□	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	･エネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している。　･ISO14001の認証を取得していた経験があり、現在エコアクション21の認証取得に取り組んでいる。							7.3						13				
13		□	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	･温室効果ガス排出量の把握をし、LED照明や高効率GHPを段階的に導入して温室効果ガスの排出量抑制に取り組んでいる。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		□	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	･規制対象有害物質を把握し、使用しない取り組みを実施している。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15		□	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	･環境に配慮した材料、製品、サービスを通じて生物多様性保全に配慮している。 ･毎年、排水の測定･管理を実施しており、生態系に影響を及ぼしていないことを確認している。						6.6									15		
16		□	【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	･廃棄物の分別、削減、資源の再利用を推進している。												12.5		14.1			
17		□	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	･水使用量の把握をし、段階的に自動水洗、節水仕様機器を設置している。						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、 併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18		□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	・【予定】エコアクション21の認証取得に取り組んでいる。（ISO14001認証を取得していたが、エコアクション21へ移行予定）			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	・【予定】エコアクション21の認証取得に環境レポートを公表する予定。												12.6					
20		□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	・太陽光パネルを設置している。							7.2						13				
21		□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	・平成19年12月に、財団法人長野県緑の基金より活動証明書を頂いている。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・就業規則に禁止の旨を明記している。																16 16.5	
23		□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・就業規則に禁止の旨を明記している。																16	
24		□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・「知的財産の保護」について定め、会社内で教育を行い、徹底を図っている。								8.2 8.3	9								
25		□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・「特定個人情報等の適正な取扱いに関する基本方針」を定め、会社内で情報管理の教育を行い、徹底を図っている。																16	
26		□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	・当社では紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している。																16	
27		□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ						5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	・製品・サービス使用時に想定されるリスクの洗い出しを行い、対策を実施している。			3.9									12.4					
29		□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	・ISO9001:2015の認証を取得しており、品質保証体制を構築している。									9								
30		☑	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ							6						12	13	14	15		
31		☑	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	地域貢献・社会貢献	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・地域の各会に所属し、当社への意見・要望があれば収集し、適宜対応を行っている。				4					9		11	12		14	15		17
33		□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・毎月、会社周辺の清掃活動を行っている。 ・会社建物の一部を解放し、中学生の競技用省エネ車両の製作を支援している。 ・毎年、長野高専生、高校生のインターンシップや、工場見学の受入れを行っている。				4							11			14	15		17
34		□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・地域経済活性化のため、地域の取引先から購入している。								8	9		11	12	13				
35	組織体制	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念を明文化し、全社員に配布している。 ・毎週、全体朝礼で経営理念を唱和している。 ・経営目標は毎年、年度初めに全社員に発表、掲示し、共有している。								8	9								17
36		□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・就業規則に法令順守の旨を明記している。 ・法令順守の重要性について掲示を行い、周知徹底を図っている。																16	
37		□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・環境マネジメントシステムの取り組みを通して、環境・社会に及ぼす影響に対応する体制を整えている。																16	
38		□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・ISO9001:2015及び、環境マネジメントシステムの取り組みを通して、自社の活動が及ぼす影響を把握し、適切に対応している。																16	17
39		□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・ISO9001:2015、環境マネジメントシステム、労働安全衛生マネジメントシステムの取り組みを通して、リスクを特定、評価し、予防処置に努めている。																16	
40		□	【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ																	16	
41		□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・2012年に事業継続計画を策定し、体制を整備している。									9		11		13 13.1			16	
42		□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ									8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
　（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）